

5-1 東海地方の微小地震の分布 (1990年11月1日～1991年4月30日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District (November 1, 1990 – April 30, 1991)

名古屋大学理学部

School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1990年11月1日より1991年4月30日までの6ヶ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

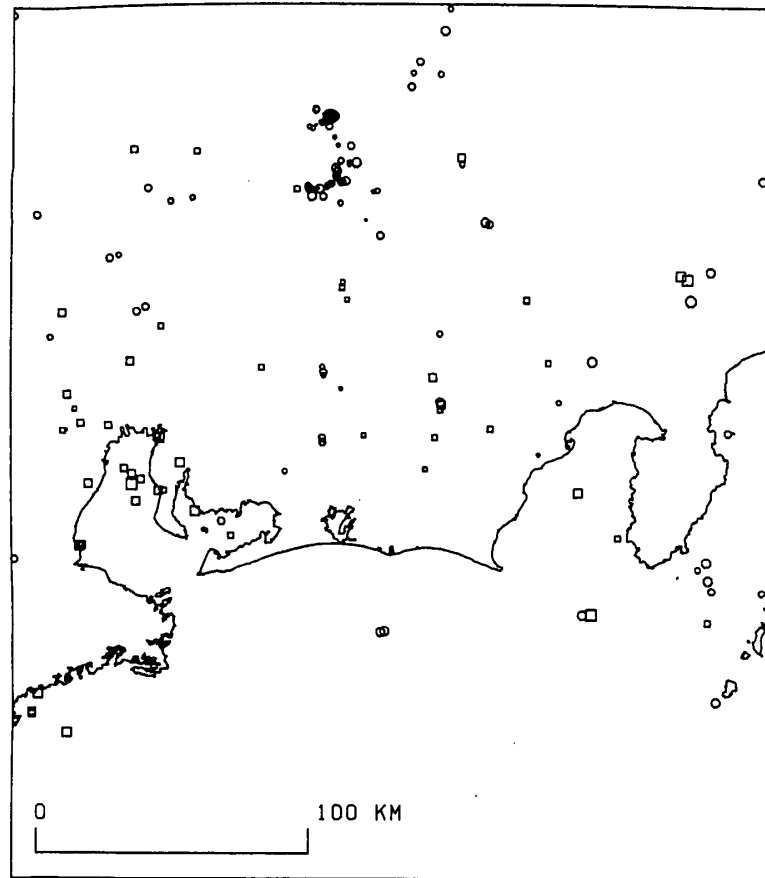
第1図は1991年4月30日までの6ヶ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km以浅に発生している震央を3ヶ月づつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20kmから80kmの間の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) この期間を通じて愛知・岐阜・三重県等西部地域内での地震は2月10日岐阜県南東部でM3.6, 2月18日伊勢湾南部でM3.4, 3月17日岐阜県西部でM3.8, 3月24日三重県北部でM3.5, 4月2日三河地方でM3.6等やや活動的であった。これに対して静岡県内では4月25日にはほぼ中央部でM4.9の地震が発生し余震も観測されたが他の期間は静穏であった。
- (2) 長野県西部地域の地震活動はほぼ定常的であるが2月22日M3.0, 4月13日M3.3, 4月15日M3.3等の地震が発生し, 後半にやや活動的であった。
- (3) 乗鞍岳南西部の群発地震活動域では1月11日M3.5, 1月23日M4.1, 2月9日M3.8, 3月12日M3.0, 3月15日M3.0等の地震が発生し, ほぼ定常的な活動が続いている。
- (4) 4月23日から新島南西沖でM4.0の地震を含む群発地震活動が見られた。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布 (1990年5月1日～1990年10月31日), 連絡会報, 45(1991), 279-281.

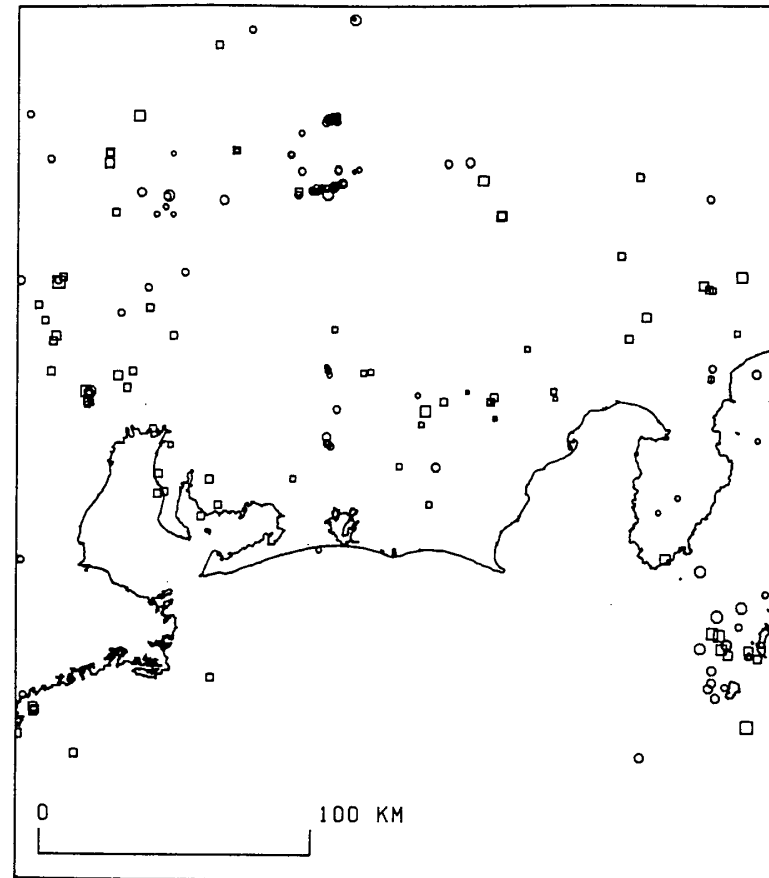


N = 169

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1990 11 1 - 1991 1 31



N = 208

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

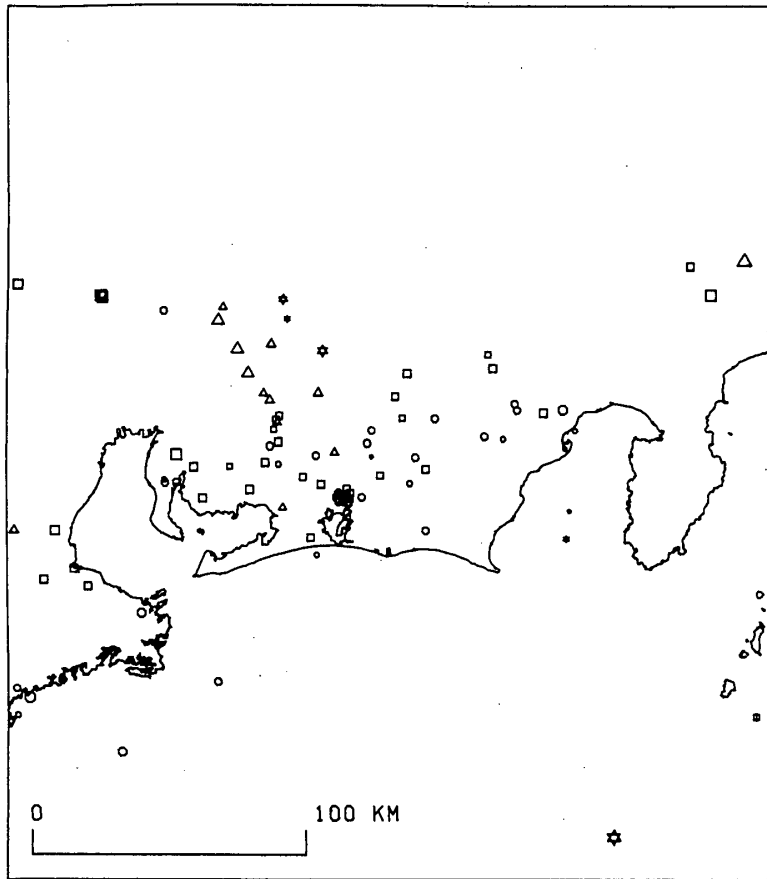
MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1991 2 1 - 1991 4 30

(NAGOYA UNIV)

第1図 微小地震の分布 (1990年11月1日~1991年4月30日) 震源の深さが20km以浅のもの

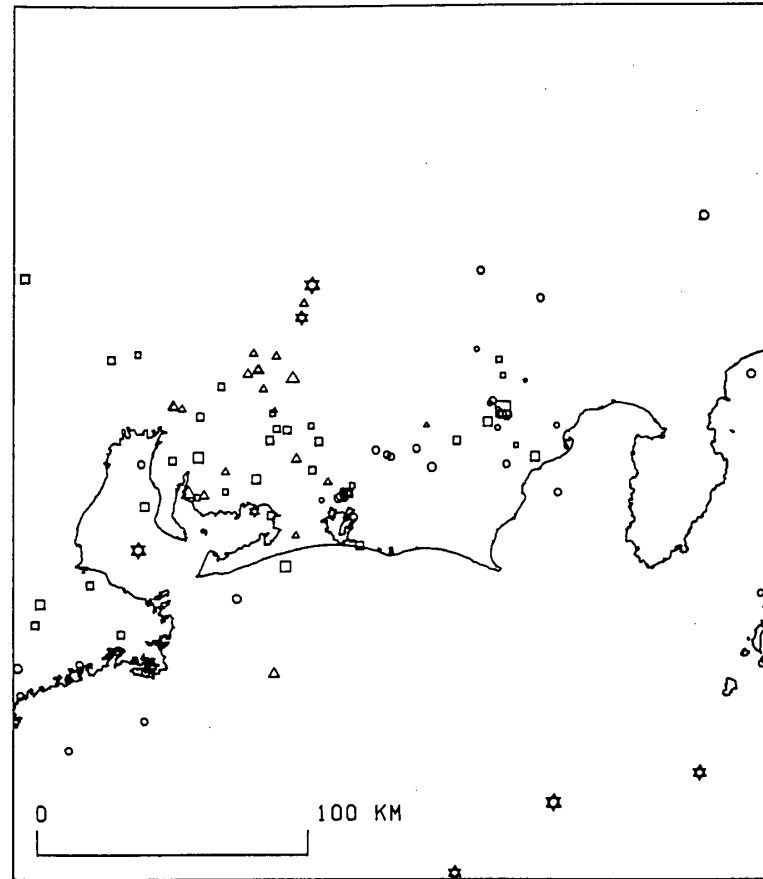
Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (Nov. 1, 1990 - Apr. 30, 1991) shallower than 20 km.



N = 98

DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1990 11 1 - 1991 1 31



N = 103

DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1991 2 1 - 1991 4 30

(NAGOYA UNIV)

第2図 微小地震の分布 (1990年11月1日~1991年4月30日) 震源の深さが20kmから80kmのもの

Fig. 2 Epicenter distribution of earthquakes (Nov. 1, 1990 - Apr. 30, 1991) deeper than 20 km.